

2月の野菜の見通し

平成30年1月23日現在

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
だいこん		11,607	70%	11,924	90	167%	90	-	-	年内から引続き、露地物は全国的に低温、干ばつ等で生育が遅れ、肥大不足が見られる。平年に比べ太物比率は低く、小ぶりの仕上がり。終盤を迎えた関東産の露地物は例年より切り上がり早まり、後続のトンネル物も生育遅れと小ぶりの仕上がりから、2月後半は出荷の谷間は大きい見通し。総体の予想入荷量は前年比70%。年末から続く高値疲れもあり上旬は下げ気配強まるが、絶対量不足により中旬には下げ止まり。価格は過去5カ年同月の最高値。
はくさい		11,287	80%	11,996	99	136%	71	-	-	2月出荷についても肥大は鈍く、平箱中心も大箱比率は平年を上回る。秋冬作は2月20日過ぎから徐々に減少に向かう。出荷前倒し傾向と小ぶりのため箱数少なく、総体の予想入荷量は前年比80%。2月中旬以降は出回り量の減少にともない上げ気配強まり、価格は過去5カ年同月の最高値。
キャベツ		13,889	90%	14,703	129	116%	104	-	-	各産地とも根張りが弱く、低温、乾燥により小玉の仕上がりとなっている。月後半からは春作が増量してくるが、地域によって定植不十分の圃場もあり、総体の予想入荷量は少なかった前年の1割減。年末から続く高値もあり、中旬以降は春作の増量もあり軟調推移。1月の高値より価格は落ち着くが、価格は前年、平年比でも大幅高。
ほうれんそう		1,718	90%	1,618	408	123%	453	-	-	現状、低温、乾燥等で生育遅れ気味も天候回復とともに回復に向かう。2月上旬～中旬にかけて、11月植え付け分が増量する見込み。総体の予想入荷量は潤沢だった前年より1割減も平年並み。中旬は増量にともない下げ気配強まり、下旬は保合い推移も中旬の下げにより荷動き良好の見込み。価格もあり荷動き良好の見込み。1月の基調高の流れを受け、価格は前年、平年比でも高。
ねぎ		4,115	前年並(平年を下回る)	4,476	330	100%	293	29	0.7%	下位等級品の比率は平年より高く、太物の発生は少なめ。正品中心に入荷するも、予想入荷量も少なかった前年並み。1月は産地の行事等で出荷不安定であったが、2月に向かい出方も安定してくる。高値続きもあり2月上旬に下げ気配強まるも、総体の予想入荷量は平年を下回り、月トータルの予想価格は基調高の前年並みで平年比では高。

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
きゅうり		5,040	95% (平年並)	4,826	316	111%	369	-	-	現状、各産地とも低温の影響を受け生育停滞気味だが、花飛び、着果状況、病害とも特筆すべき問題はなく、気温上昇にともない出荷ペースも加速してこよう。関東産の春作は中旬から増量に向かう。総体の予想入荷量は潤沢だった前年比95%とやや減も平年並み。関東産春作の増量にともない中旬に下げ気配強まる見込み。価格は基調安の前年より高く、平年よりもやや高。
トマト		5,447	前年並	5,049	404	94%	428	-	-	各産地とも、低温ながら着色遅れも回復傾向。花着き、着果状況も安定しており、出荷に影響するような病害も見られず。2月は日長時間も延びて、平年作となる見通し。総体の予想入荷量は順調だった前年並み。1月は年内の遅れ分がずれ込み、2月上旬まで基調安で推移するも、春商材としての引合いも強まり、中旬には上げ気配強まる見込み。価格は前年、平年よりも安。